

1 企画展

開館25周年記念展 I

箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展  
～花愛でるころ、恋の詩<sup>うた</sup>とともに～

- 会期 2022(令和4)年4月27日(水)～6月26日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- 協力 箱根・芦ノ湖 成川美術館
- 後援 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 A 4 変形 縦20×横21cm 72頁
- 開催日数 54日間
- 入場者数 9,067人
- 観覧料 一般730(630)円／満70歳以上360(310)円／高大生520(420)円／小中生320(210)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※土曜日は高校生以下無料  
※4月30日(土)は満70歳以上無料
- 出品点数 全45点
- 内容解説

Surely with mankind the appreciation of flowers must have been coeval with the poetry of love.  
—OKAKURA Kakuzo

「人類において、花を観賞することは、恋愛の詩と詩を同じくして始まったに違いない。」

岡倉天心(覚三)は『The Book of Tea(茶の本)』の中でこう述べ、人間が花に寄せる想いは、愛情を詩歌に託すのと同様、人類と動物とを分かち、人間にとって根源的なものであるという考えを示している。

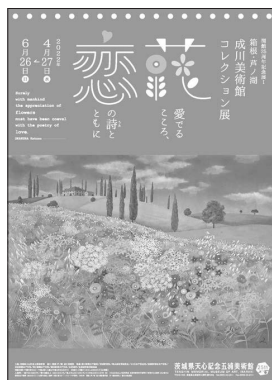
私たちの生活を彩る花は、芸術の中でもポピュラーなモチーフとして用いられてきた。そして明治に始まる「日本画」の歴史のなかで、画家たちは古画の模倣から離れて写生を強く意識し、また植物学、博物学などの知識を背景に、新たな視点で花や植物を描いてきた。

本展では成川美術館の4000点を超える日本画コレクションから、花をテーマに多様な作品を精選して紹介した。戦後から現代までの日本画家たちによる代表作の数々を展示し、個性溢れる作品と同時に、色とりどりの花の魅力を楽しんでいただく展覧会とした。

- 担当 井野功一(首席学芸員)
- 関連事業  
担当学芸員による作品解説  
日時 5月22日(日)、6月4日(土)  
各日午後1時30分～2時  
担当 井野功一(首席学芸員)  
来て・見て・発見!アートツアー for kids  
日時 5月14日(土・祝)  
午前10時～午後12時  
茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート  
日時 5月28日(土)  
第1部 午前11時～/第2部 午前11時35分～  
特別出演:北茨城市立関本中学校吹奏楽部(第1部のみ)

- 関連記事
  - ・「花」描いた日本画45点 北茨城・県天心記念五浦美術館 4月21日【よみうりタウンニュース】
  - ・箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展 花愛でるころ、恋の詩とともに 4月22日【読売新聞】
  - ・県五浦美術館 花の日本画厳選45点 25周年記念展 27日に第1弾開幕 4月25日【茨城新聞】
  - ・25周年記念 花テーマ 日本画45点 五浦美術館で きょうから 4月27日【毎日新聞】
  - ・<いづらだより> 25周年に咲き乱れる花 5月1日【東京新聞】
  - ・箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展 花愛でるころ、恋の詩とともに 5月14日【朝日新聞】
  - ・箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展～花愛でるころ、恋の詩とともに～ 6月10日【産経新聞】
  - ・「箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展 花愛でるころ、恋の詩とともに」から 5月6日【北茨城市市議会だよりNo.107】
  - ・pickup! 開館25周年記念展I 箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展 ～花愛でるころ、恋の詩とともに～ 6月【月刊みとNo.586】

- 関連放送
  - ・「お昼のニュース」 5月10日【NHK水戸FM】
  - ・「クロスアイ(動画ニュース)」 5月25日【茨城放送】



ポスター B2



チラシ A4



図録

## ● 出品作品一覧

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	初出展覧会(会場)
1	山本丘人	濤と華	昭和45年 (1970)	紙本彩色・額装	55×100.7	新制作日本画部春季展
2		星空の牡丹	昭和46年 (1971)	紙本彩色・額装	73×53	新制作日本画部春季展
3		地上風韻	昭和50年 (1975)	紙本彩色・額装	136.5×231.5	第2回創画展
4	堀文子	春の庭	昭和50年 (1975)	紙本彩色・額装	162.1×227.3	第2回創画展
5		初秋	昭和56年 (1981)	紙本彩色・額装	191×137	第8回創画展
6		こぶし咲く	昭和59年 (1984)	紙本彩色・額装	193.5×130	第11回創画展
7		トスカーナの花野	平成2年 (1990)	紙本彩色・額装	65.2×90.9	堀文子展—草木と共に旅の歲月 (1991年 有楽町西武アートフォー ラムほか)
8		ひまわり畑	平成2年 (1990)	紙本彩色・額装	65.2×90.9	堀文子展—草木と共に旅の歲月 (1991年 有楽町西武アートフォー ラムほか)
9		トスカーナの麦畑	平成6年 (1994)	紙本彩色・額装	65.2×90.9	堀文子展(成川美術館)
10	近藤弘明	幻秋(秋の七草)	平成元年 (1989)	紙本彩色・額装	147.5×272	近代日本画と万葉集展(横浜高島 屋)
11		萩月	平成5年 (1993)	紙本彩色・額装	152×140	近藤弘明展<月光と祈り> (日本橋高島屋ほか)
12	関口雄揮	白い花	昭和60年 (1985)	紙本彩色・額装	159×214	関口雄揮 日本画 北海道展 (帯広・藤丸百貨店)
13	那波多目功一	皁月の頃	平成17年 (2005)	紙本彩色・額装	181.8×227.3	再興第90回院展
14	牧進	再喜樹宴	平成6年 (1994)	紙本彩色・六曲 一双屏風	各215×600	日本のこころ—四季との巡り会い 牧進展(東京・松屋銀座、名古屋・ 丸栄スカイル)
15		朝清水	平成8年 (1996)	紙本彩色・額装	116.7×80.3	牧進展(成川美術館)
16		美風	平成10年 (1998)	紙本彩色・額装	116.7×90.9	開館10周年記念 牧進展(成川美術 館)
17		黎明瀧桜	平成15年 (2003)	紙本彩色・額装	190×270	描かれた桜 展(成川美術館)
18	竹内浩一	野の鈴	昭和62年 (1987)	紙本彩色・額装	184×217	第18回改組日展
19	田淵俊夫	流転(朝顔)	昭和58年 (1983)	紙本彩色・額装	170×217	再興第68回院展 奨励賞
20		春萌ゆ	昭和62年 (1987)	紙本彩色・四曲 一隻屏風	165×336	再興第72回院展

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	初出展覧会(会場)
21		花の道	平成7年 (1995)	紙本彩色・額装	116.7×90.9	田淵俊夫展(成川美術館)
22	平松礼二	路 ― 四月の雨	平成5年 (1993)	紙本彩色・四曲 一双屏風	各190.9×346	第10回 横の会展
23		路 ― 桔梗ヶ原	平成5年 (1993)	紙本彩色・四曲 一双屏風	各170×340	平松礼二 路一旅、そして夢 展 (成川美術館)
24		睡蓮の池 桜	平成24年 (2012)	紙本彩色・額装	97×145.5	
25	岡崎忠雄	罌粟	平成3～4年 (1991-92)	紙本彩色・額装 二点組	各167.8×185	岡崎忠雄展「人、花を描く」 (1992年 成川美術館)
26	倉島重友	霧野	昭和62年 (1987)	紙本彩色・額装	170.5×215	再興第72回院展 奨励賞
27		白い響	昭和63年 (1988)	紙本彩色・額装	215×170.5	再興第73回院展 奨励賞
28		空へつづく道	平成26年 (2014)	紙本彩色・額装	170×215	再興第99回院展
29	平岩洋彦	高原驟雨	平成13年 (2001)	紙本彩色・額装	80.3×116.7	静かなる魂の声 平岩洋彦展 (成川美術館)
30		青冷	平成13年 (2001)	紙本彩色・額装	80.3×116.7	静かなる魂の声 平岩洋彦展 (成川美術館)
31	黒光茂明	草宴 ― 蛭袋	平成6年 (1994)	紙本彩色・額装	67×128	
32		草宴 ― 薊	平成6年 (1994)	紙本彩色・額装	67×128	
33	中野嘉之	草炎 ― 鶏頭	平成6年 (1994)	紙本彩色・額装	228×120.5	<揺れる幻映>中野嘉之日本画展 (日本橋三越)
34		草宴 ― 蓼	平成6年 (1994)	紙本彩色・額装	228×120.5	<揺れる幻映>中野嘉之日本画展 (日本橋三越)
35	森田りえ子	春臙臙	平成4年 (1992)	紙本彩色・四曲 一双屏風	各168×370	森田りえ子展(日本橋高島屋)
36		秋蒼穹	平成4年 (1992)	紙本彩色・四曲 一双屏風	各168×370	森田りえ子展(日本橋高島屋)
37		島の女 ― 祭りの朝 ―	平成5年 (1993)	紙本彩色・額装	178×227.3	'93 次代を担う作家展
38		つらつら椿	平成8年 (1996)	紙本彩色・額装	130.3×97	生命燦華―森田りえ子展 (成川美術館)
39		首夏	平成8年 (1996)	紙本彩色・額装	139.5×100	生命燦華―森田りえ子展 (成川美術館)
40		白露	平成8年 (1996)	紙本彩色・額装	122×91.5	生命燦華―森田りえ子展 (成川美術館)
41		想	平成16年 (2004)	紙本彩色・額装	90.9×72.7	華・花・はな―折々の抄 森田り え子展(成川美術館)
42	湯口絵美子	ブルボン・ローズ	平成27年 (2015)	紙本彩色・額装	97×130.3	
43		フェアリー・ローズ	平成27年 (2015)	紙本彩色・額装	97×130.3	
44	鈴木恵麻	アリとヒマワリ	平成21年 (2009)	紙本彩色・額装	65.2×90.9	EMA作品展―鈴木恵麻日本画展― (横浜そごう)
45		紫陽花譜	平成21年 (2009)	紙本彩色・額装	72.4×272.7	EMA作品展―鈴木恵麻日本画展― (横浜そごう)

## 開館25周年記念展Ⅱ

## 並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝

- 会期 2022(令和4)年7月9日(土)～9月25日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- 協力 公益財団法人並河靖之有線七宝記念財団
- 後援 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会

- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 A4 変形 縦22.2×横23cm 71頁
- 開催日数 69日間
- 入場者数 8,939人
- 観覧料 一般840(730)円／満70歳以上420(360)円／高大生630(520)円／小中生320(210)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※夏休み期間を除く土曜日は高校生以下無料  
※9月15日(木)～21日(水)は満70歳以上無料

- 出品点数 全118点

## ●内容解説

明治時代、輸出用の工芸として人気を博した七宝。並河靖之(1845-1927)は、京都で七宝作家として活躍した。並河は武士出身であったが、明治維新後は七宝業に取り組み、海外で人気を博した。明治29年(1896)には皇室技芸員となり、当代一流の工芸家としての地位を確立することになった。近年、明治時代の美術・工芸が再注目されている。そこで、近代日本美術の発展に尽くした岡倉天心(1863-1913)の業績を顕彰する当館では、天心と同時代に活躍した並河靖之の初期から晩年までの七宝作品を一堂に紹介する展覧会を開催した。

本展では、並河七宝の名品に加え、下絵等の関連資料、修学院離宮に伝わる江戸時代初期の飾り金具、さらに並河と同時期に活躍し「東のナミカワ」と呼ばれた濤川惣助の七宝作品などの展示により、並河七宝の魅力を紹介した。

- 担当 村木正英(主査)

## ●関連事業

担当学芸員による作品解説

日時 7月30日(土)・9月4日(日)

各日午後1時30分～2時

担当 中田智則(企画普及課長)

七宝づくりに挑戦!

日時 8月6日(土)・7日(日)

各日午前10時～11時30分

有線七宝制作体験講座

日時 9月17日(土)・18日(日)

各日午前9時30分～午後4時30分

講師 森千鶴子(七宝作家)

## ●関連記事

- ・並河靖之の技 県天心記念五浦美術館 海外での評価も高い明治期の京都の七宝作家  
7月7日【よみうりタウンニュース】
- ・県五浦美術館 明治七宝の妙技堪能 25周年記念 県内初、並河の回顧展 7月12日【茨城新聞】
- ・世界を魅了 七宝の名品 企画展「並河靖之の雅な技」 7月16日【産経新聞】
- ・七宝作家 並河靖之を紹介 8月5日【福島民友】
- ・「並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝」 8月5日【北茨城市市議会だよりNo.108】
- ・中田智則<いづらだより>9 七宝の超絶技巧に死力 8月7日【東京新聞】
- ・世界を魅了した京都七宝展示 8月16日【福島民友】
- ・県五浦美術館企画展 並河靖之の雅な技 明治の京都七宝 繊細優美な文様 8月21日【茨城新聞】
- ・並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝 8月26日【毎日新聞】

## ●関連放送

- ・「コミュニティワイド イベント情報テロップ」  
7月4日～17日【JWAYケーブルテレビ】
- ・「クロスアイ(動画ニュース)」 7月14日【茨城放送】
- ・「なんでかんで見っせ！」  
8月10日【テレビユー福島】
- ・「シェア！」 8月22日【福島放送】
- ・「日曜美術館・アートシーン」  
9月11日、18日【NHK Eテレ】
- ・目の眼YouTube「骨董トーク」明治七宝の名工たち 並河靖之と濤川惣助 【目の眼】



ポスター B2



チラシ A4



図録

## ● 出品作品一覧

### 1 前時代

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法 (cm)	所蔵
1		七宝唐花文建水	明一清代 (17世紀)	口径15.0 胴径15.2 高7.3	野村美術館
2	修学院離宮 中御茶屋客殿	七宝花車形釘隠	延宝5年 (1677)	(各)縦10.4 横16.7	宮内庁京都事務所
3	修学院離宮 中御茶屋客殿	七宝笹竹形釘隠	延宝5年 (1677)	(各)縦12.0 横17.7	宮内庁京都事務所

### 2-1 初期作品

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法 (cm)	所蔵
4	並河靖之	鳳凰文食籠	明治6年 (1873)	径12.6 高6.7	並河靖之七宝記念館 ※
5	並河靖之	磁胎桜蝶七宝繫文合子	明治一大正期	径11.5 高7.5	並河靖之七宝記念館 ※
6	並河靖之	瑞鳥花卉唐草割付文小花瓶	明治一大正期	高11.0 径6.5	並河靖之七宝記念館 ※

### 2-2 世界を魅了した並河七宝

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法 (cm)	所蔵
7	並河靖之	花鳥図花瓶	明治29年頃 (c. 1896)	高20.0	清水三年坂美術館
8	並河靖之	菊紋付蝶松唐草模様花瓶	明治中期	(各)高26.5 径15.5	総本山泉涌寺
9	並河靖之	蝶に花丸唐草文飾壺	明治期	高12.0 径9.0	京都国立近代美術館
10	並河靖之	蝶に花唐草文水注	明治期	高10.0 幅11.5 奥行7.5	京都国立近代美術館
11	並河靖之	龍文瓢形花瓶	明治期	高22.6 径8.3	京都国立近代美術館
12	並河靖之	藤図花瓶	明治期	高17.1 径8.5	京都国立近代美術館
13	並河靖之	四季花鳥図名刺入	明治期	幅5.8 奥行9.3 高0.6	京都国立近代美術館
14	並河靖之	花鳥図花瓶	明治期	高14.0 径6.0	京都国立近代美術館
15	並河靖之	蝶に花丸唐草文花瓶	明治期	高15.5 径7.0	京都国立近代美術館
16	並河靖之	桜蝶図平皿	明治期	径24.6 高2.5	京都国立近代美術館
17	並河靖之	花鳥図棗	明治期	高7.0 径6.5	京都国立近代美術館
18	並河靖之	花鳥図蓋付飾壺	明治一大正期	高13.5 径8.0	京都国立近代美術館
19	並河靖之	藤草花文花瓶	明治一大正期	高23.0 径11.5	並河靖之七宝記念館 ※
20	並河靖之	菊唐草文細首小花瓶	明治一大正期	高13.5 径6.0	並河靖之七宝記念館 ※
21	並河靖之	菊唐草文細首小花瓶	明治一大正期	高13.3 径6.5	並河靖之七宝記念館 ※
22	並河靖之	菊唐草文煙草入	明治一大正期	幅9.0 奥行7.5 高2.0	並河靖之七宝記念館 ※

### 2-3 風景モチーフ

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法 (cm)	所蔵
23	並河靖之	修学院風景文香炉	明治一大正期	高12.0 径11.7	並河靖之七宝記念館 ※
24	並河靖之	富士帆掛舟風景文小丸壺	明治一大正期	高8.0 径9.0	並河靖之七宝記念館 ※
25	並河靖之	平等院風景文小蓋壺	明治一大正期	高10.7 径8.5	並河靖之七宝記念館 ※
26	並河靖之	平安神宮風景文小蓋壺	明治一大正期	高15.0 径12.5	並河靖之七宝記念館 ※

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法 (cm)	所蔵
27	並河靖之	伊勢神宮風景文小花瓶	明治一大正期	(左)高12.3 径6.3 (右)高12.5 径6.3	並河靖之七宝記念館 ※
28	並河靖之	伊勢神宮文方香合	明治一大正期	幅5.8 奥行5.8 高3.3	並河靖之七宝記念館 ※
29	並河靖之	金閣寺風景文蓋壺	明治一大正期	高18.2 径12.0	並河靖之七宝記念館 ※
30	並河靖之	金閣寺風景文香炉	明治一大正期	高9.3 径9.0	並河靖之七宝記念館 ※
31	並河靖之	近江八景栗津晴嵐角皿	明治一大正期	幅11.8 奥行11.8 高1.2	並河靖之七宝記念館 ※
32	並河靖之	近江八景石山秋月角皿	明治一大正期	幅11.8 奥行11.8 高1.3	並河靖之七宝記念館 ※
33	並河靖之	近江八景堅田落雁角皿	明治一大正期	幅11.9 奥行11.9 高1.2	並河靖之七宝記念館 ※
34	並河靖之	神社雪景文卓上煙草入 敷き盆添う	明治一大正期	(敷き盆)幅18.0 奥行13.3 高1.4/(煙草入)幅14.5 奥行9.8 高4.9	並河靖之七宝記念館 ※
35	並河靖之	七宝山水樓閣文香炉	大正元年(1912)	高13.0 口径8.2 胴径14.7	東京国立博物館

## 2-4 花鳥モチーフ

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法 (cm)	所蔵
36	並河靖之	鳥に秋草図花瓶	明治期	(各)高26.0 径10.0	京都国立近代美術館
37	並河靖之	菊文煙草入	明治後期	幅8.5 奥行7.0 高3.0	京都国立近代美術館
38	並河靖之	白地菊唐草文香炉	明治後期	高9.3 径9.0	京都国立近代美術館
39	並河靖之	菊唐草文香炉	明治一大正期	高8.8 径9.2	並河靖之七宝記念館 ※
40	並河靖之	牡丹蝶文香水入	明治一大正期	高5.7 幅4.7 奥行1.4	並河靖之七宝記念館 ※
41	並河靖之	桜牡丹菊蝶文小花瓶	明治一大正期	高9.5 径5.2	並河靖之七宝記念館 ※
42	並河靖之	紅葉宿禽文煙草入	明治一大正期	幅7.3 奥行10.0 高1.9	並河靖之七宝記念館 ※
43	並河靖之	花卉蝶文煙草入	明治一大正期	幅8.8 奥行7.1 高3.4	並河靖之七宝記念館 ※
44	並河靖之	萩桔梗蝶文煙草入	明治一大正期	幅8.9 奥行7.2 高3.8	並河靖之七宝記念館 ※
45	並河靖之	芍薬堇蝶文煙草入	明治一大正期	幅12.7 奥行7.9 高4.3	並河靖之七宝記念館 ※
46	並河靖之	斑入笹菊文卓上煙草入 敷き盆添う	明治一大正期	(敷き盆)幅17.8 奥行13.4 高1.6/(煙草入)幅14.5 奥行10.0 高5.1	並河靖之七宝記念館 ※
47	並河靖之	浜松千鳥文卓上煙草入 敷き盆添う	明治一大正期	(敷き盆)幅18.2 奥行13.7 高1.1/(煙草入)幅14.5 奥行9.7 高5.4	並河靖之七宝記念館 ※
48	並河靖之	紫陽花蝶文丸皿	明治一大正期	径11.7 高1.8	並河靖之七宝記念館 ※
49	並河靖之	藤蝶文丸皿	明治一大正期	径12.0 高2.0	並河靖之七宝記念館 ※
50	並河靖之	藤蝶文丸皿	明治一大正期	径12.0 高1.8	並河靖之七宝記念館 ※
51	並河靖之	鳳凰瑞雲菊青海波文香炉	明治一大正期	高14.5 径14.5	並河靖之七宝記念館 ※
52	並河靖之	菊御紋章藤文大花瓶	明治一大正期	高35.8 径15.3	並河靖之七宝記念館 ※
53	並河靖之	藤蝶文大花瓶	明治一大正期	高36.5 径15.6	並河靖之七宝記念館 ※
54	並河靖之	花桐蝶文大花瓶	明治一大正期	高30.5 径16.1	並河靖之七宝記念館 ※
55	並河靖之	花桐蝶文大花瓶	明治一大正期	高30.5 径16.1	並河靖之七宝記念館 ※
56	並河靖之	菊紅葉宿禽文花瓶	明治一大正期	高25.1 径10.1	並河靖之七宝記念館 ※
57	並河靖之	菊蝶文双耳四方花瓶	明治一大正期	高22.2 幅11.5 奥行11.5	並河靖之七宝記念館 ※
58	並河靖之	竹文花瓶	明治一大正期	高25.7 径9.7	並河靖之七宝記念館 ※
59	並河靖之	菊籬文菱形面取花瓶	明治一大正期	高21.3 幅11.0 奥行8.5	並河靖之七宝記念館 ※
60	並河靖之	花桐文共蓋水指	明治一大正期	高18.7 径13.0	並河靖之七宝記念館 ※
61	並河靖之	四君子文扇面散水注	明治一大正期	高9.0 胴径8.9	並河靖之七宝記念館 ※
62	並河靖之	「壽」字文茶托	明治一大正期	(各)径11.5 高2.0 (6枚組)	並河靖之七宝記念館 ※

## 2-5 下図

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法(縦×横)cm	所蔵
D-1	並河工場	下図「花鳥図花瓶」	明治18年頃(c. 1885)	37.0×26.0	並河靖之七宝記念館 ※
D-2	並河工場	下図「菊唐草文壺」	明治25年頃(c. 1892)	27.4×19.5	並河靖之七宝記念館 ※
D-3	並河工場	下図「花鳥図花瓶」(エ ドワード・ジャクソン・ ホームズ注文)	明治29年頃(c. 1896)	27.0×19.5	並河靖之七宝記念館 ※

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法(縦×横)cm	所蔵
D-4	並河工場	下図「菊唐草文細首壺台座付」	明治一大正期	27.0×19.0	並河靖之七宝記念館 ※
D-5	並河工場	下図「桜蝶文皿」	明治一大正期	26.4×37.8	並河靖之七宝記念館 ※
D-6	並河工場	下図「蝶花文壺台座付」	明治一大正期	41.5×30.5	並河靖之七宝記念館 ※
D-7	並河工場	下図「裏菊御紋付香炉」	明治一大正期	26.0×38.2	並河靖之七宝記念館 ※
D-8	並河工場	下図「紅葉風景修学院離宮図香炉台座付」	明治一大正期	37.3×27.4	並河靖之七宝記念館 ※
D-9	並河工場	下図「四季花鳥図蓋付壺」	明治一大正期	27.0×38.9	並河靖之七宝記念館 ※
D-10	並河工場	下図「四季草木図」	明治一大正期	27.5×37.8	並河靖之七宝記念館 ※
D-11	並河工場	下図「伊太利国公使館御注文下画 花蝶文ポット、シュガーポット、ジャグ」	明治一大正期	27.0×37.0	並河靖之七宝記念館 ※
D-12	並河工場	下図「舞楽図壺台座付」	明治一大正期	48.3×44.5	並河靖之七宝記念館 ※
D-13	並河工場	下図「藤文壺」	明治一大正期	55.0×37.0	並河靖之七宝記念館 ※
D-14	並河工場	下図「桜山水図香炉」	明治一大正期	26.0×39.0	並河靖之七宝記念館 ※

### 3 同時代の七宝

No.	作者名等	作品名	製作年代／出品歴	寸法(cm)	所蔵
63	林小伝治	四季草花図花瓶	明治期	高40.0 幅16.5 奥行16.5	京都国立近代美術館
64	濤川惣助	藤図花瓶	明治期	高30.6 径12.6	京都国立近代美術館
65	濤川惣助	鶏図長方皿	明治期	奥行22.9 幅16.8 高1.2	京都国立近代美術館
66	濤川惣助	柳燕図花瓶	明治期	高43.0 径18.5	京都国立近代美術館
67	初代 稲葉七穂	七宝装飾飾棚	明治36年頃(c. 1903) セントルイス万国博覧会	高86.5 幅94.8 奥行42.5	京都国立近代美術館
68	竹内忠兵衛	七宝柳燕文花瓶	明治26年(1893) シカゴ・コロロンブス万国博覧会	高53.4 口径20.3 底径17.5	京都国立博物館
69	川出柴太郎	芥子図花瓶	明治期	(各)高95.2 径55.0	京都国立近代美術館
70	梶佐太郎	七宝薔薇文花瓶	明治26年(1893) シカゴ・コロロンブス万国博覧会	高53.1 口径20.9 底径24.5	京都国立博物館
71	安藤重兵衛	葉鶏頭図花瓶	明治一大正期	(各)高44.5 径18.0	京都国立近代美術館

### 4 日本画家との交友

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法(縦×横)cm／材質技法	所蔵
J-1	原在中	牡丹二鳥図	江戸時代後期(18-19世紀)	111.8×36.5 絹本・彩色・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-2	松村景文	月二草花図	江戸時代後期(18-19世紀)	100.8×36.7 絹本・彩色・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-3	小田海僊	花鳥図	江戸時代後期(18-19世紀)	123.2×40.0 絹本・彩色・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-4	田能村直入	富士二船図	江戸末-明治期(19-20世紀)	108.4×33.4 紙本・墨画・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-5	望月玉泉	瀧之図	明治41年(1908)	170.5×63.8 絹本・墨画・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-6	富岡鉄斎	協天大帝像	明治26年(1893)	136.0×57.3 絹本・彩色・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
		(付属品)緑授金章図記	明治26年(1893)	31.0×221.0 紙・墨・卷子	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-7	富岡鉄斎	秋草図	明治30年(1897)	34.7×48.7 絹本・彩色・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-8	富岡鉄斎	扇面貼交屏風	明治30-43年頃(c. 1897-1910)	171.0×384.0 紙本・墨画彩色・六曲一隻	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-9	富岡鉄斎	謹祝新禧	明治32年(1899)	44.3×63.7 紙本・墨画・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-10	富岡鉄斎	括囊	明治33年(1900)	32.0×109.0 紙本・墨書・額	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)

No.	作者名等	作品名	製作年代	寸法(縦×横)cm/材質技法	所蔵
J-11	富岡鉄斎	観世音菩薩	明治33年(1900)	136.0×67.2 紙本・彩色・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-12	富岡鉄斎	山水十二景図屏風	明治37年(1904)	(各)138.2×51.8 紙本・墨画彩色・六曲一双	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-13	富岡鉄斎	仙閣図	明治一大正期	150.5×61.0 紙本・墨画・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-14	富岡鉄斎	山水図	明治一大正期	168.2×57.6 紙本・墨画・軸装	並河靖之七宝記念館
J-15	富岡鉄斎	窯釋迦ノ像	明治一大正期	122.2×39.0 紙本・彩色・軸装	並河靖之七宝記念館
J-16	富岡鉄斎	観瀑図	明治一大正期	150.5×61.0 紙本・墨画・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-17	富岡鉄斎	富久者有智	明治一大正期	132×32.0 紙本・墨画・軸装	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
J-18	福田平八郎	鯉	大正12年(1923)	159.5×114.7 絹本・彩色・軸装	並河靖之七宝記念館 *9月2日までの展示

## 資料

No.	作者名等	資料名	年代	寸法(cm)	所蔵
資-1		芳名帳(2冊)		(各)縦27.5 横20.0 厚2.0	並河靖之七宝記念館
資-2		賞状屏風(い)		縦146.0 横180.0	並河靖之七宝記念館
資-3		賞状屏風(ろ)		縦146.0 横180.0	並河靖之七宝記念館
資-4		パリ万国博覧会金賞牌	明治33年(1900)	径6.5	並河靖之七宝記念館
資-5		日英博覧会金賞牌	明治43年(1910)	径5.0	並河靖之七宝記念館
資-6		並河靖之七宝工場看板		幅151.3 縦27.0 厚3.0	並河靖之七宝記念館
資-7		緑綬褒章	明治26年(1893)	縦9.5 横3.5	並河靖之七宝記念館
資-8		緑綬褒章賞状	明治26年(1893)	縦55.0 横76.0	並河靖之七宝記念館
資-9	並河工場	銅素地		縦7.5 横19.5	並河靖之七宝記念館 ※
資-10		植線素地 植線工程素地		高17.0 径9.0	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
資-11	並河工場	ウマ		幅13.0 高20.0 長25.0	並河靖之七宝記念館 ※
資-12		ハサミ、ピンセット		11.0	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
資-13		ハリ(2本)		16.0、20.0	個人蔵(並河靖之七宝記念館寄託)
資-14	並河工場	紅葉文様工程見本			並河靖之七宝記念館 ※
資-15	並河工場	釉薬桐花瓶用 別口 葉色ボカシ15色	大正10年(1921)		並河靖之七宝記念館 ※

○並河靖之七宝記念館が所蔵する並河靖之の七宝作品および七宝製作に係る下図、道具は、国登録有形文化財「並河靖之七宝資料 千六百六十二点」として登録されており、所蔵者名に※印を付してこれを示した。



開館25周年記念展Ⅲ

再興院展の立役者 齋藤隆三

- 会期 2022(令和4)年10月8日(土)～11月27日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- 協力 公益財団法人 日本美術院
- 後援 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会／守谷市／守谷市教育委員会
- 助成 芸術文化振興基金／公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 A4 変形 縦29.7×横22cm 143頁
- 開催日数 44日間
- 入場者数 6,115人
- 観覧料 一般840(730)円／満70歳以上420(360)円／高大生630(520)円／小中生320(210)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
 ※土曜日は高校生以下無料  
 ※10月15日(土)は満70歳以上無料  
 ※11月13日(日)は茨城県民の日のため全員無料
- 出品点数 全128点
- 内容解説

齋藤隆三(1875-1961)は茨城県守谷市出身の歴史家で、郷土・守谷では“博士”の愛称で親しまれている。近世史の研究者であった齋藤は数多くの著作を手がける傍ら、五浦を拠点としていた岡倉天心や横山大観、菱田春草らと交流し、彼らの活動を支援した。特に天心の創始した日本美術院の再興をはかるべく、大正3年(1914)には発起人の一人となり、その後、半世紀近く大観らとともに再興日本美術院の経営に携わった。

本展は、そのような再興日本美術院の立役者である齋藤にスポットを当て近代日本美術史を改めて振り返る全国初の展覧会である。初公開を含む齋藤旧蔵品を中心に、齋藤と交流のあった大観や小川芋銭、そして再興日本美術院の歴史を彩った作品を紹介しながら、その歩みをたどった。そのほか、歴史家としての業績や、齋藤の愛した水戸ゆかりの近世絵画等、県ゆかりの古美術との関連についてもあわせて紹介した。

●担当 塩田 稔雄(副主任学芸員)

●YouTubeによる展覧会紹介

- ・#shorts ちょっとだけ企画展

●関連事業

- 講演会「齋藤隆三と横山大観・菱田春草の交友」  
日時 10月30日(日) 午後1時30分～2時10分  
講師 鶴見香織(東京国立近代美術館 主任研究員)
- 展覧会担当者によるギャラリートーク  
日時 10月10日(月・祝)・11月20日(日)  
各日午後1時30分～2時10分  
担当 塩田 稔雄(副主任学芸員)
- 日本画実技講座  
日時 11月3日(木・祝)・4日(金)  
両日午前10時～午後4時  
講師 齋藤竜太(日本美術院院友・齋藤隆三令孫)
- 校服試着体験  
日時 11月19日(土)・20日(日) 各日午前10時～12時
- 来て・見て・発見!アートツアー for kids  
日時 10月29日(土) 午前10時～12時
- 第33回トワイライトコンサート「ソプラノとピアノのハーモニー」  
日時 11月26日(土) 午後5時～6時  
出演 矢口真由美(ソプラノ)、大峰真衣(ピアノ伴奏)

●関連記事

- ・展覧会「再興院展の立役者 齋藤隆三」  
10月6日【よみうりタウンニュース】
- ・齋藤隆三 資料や絵画 県五浦美術館 きょうから企画展  
10月8日【茨城新聞】
- ・塩田 稔雄 開館25周年記念展Ⅲ 再興院展の立役者 齋藤隆三 博士の愛した古今の美術  
10月21日【新美術新聞】
- ・支援者の歴史家にスポット 「再興院展の立役者 齋藤隆三」(北茨城市)  
11月5日【産経新聞】
- ・五浦美術館25周年企画展 あす先着50人に記念品  
11月7日【産経新聞】
- ・再興院展の立役者 齋藤隆三(1) 大観らの制作活動支援日本美術院発展に尽力  
11月10日【茨城新聞】
- ・再興院展の立役者 齋藤隆三(2) 制作の仲介役 画家大観、記念の箱書き  
11月13日【茨城新聞】
- ・再興院展の立役者 齋藤隆三(3) 春草との出会い 晩年まで賛辞惜しまず  
11月17日【茨城新聞】
- ・再興院展の立役者 齋藤隆三(4) 龍子の描いた「胎蔵」赤子の絵、復興の魁に  
11月20日【茨城新聞】
- ・塩田 稔雄<いづらだより>12 名画誕生を支えた人物  
11月6日【東京新聞】

●関連放送

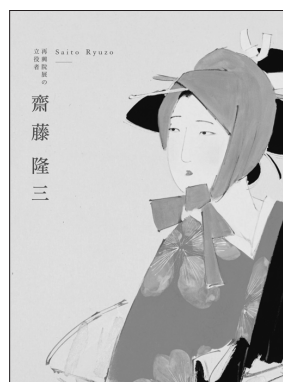
- ・「コミュニティワイド イベント情報テロップ」  
10月24日～11月7日【JWAYケーブルテレビ】
- ・「スクーピーレポート」  
11月8日【茨城放送】



ポスター B2



チラシ A4



図録

## ● 出品作品一覧

### 第一章：齋藤隆三の功績と著作

No.	作者名	資料名	製作年	材質／発行	所蔵
1	奥村土牛	齋藤隆三像	昭和20年(1945)	紙本・彩色	個人蔵
2	齋藤隆三	栄華は一朝の夢 藝術は千載に輝く	不詳	紙本・墨	個人蔵
3	齋藤隆三	『守谷志』	明治33年(1900)	私家版	当館
4	齋藤隆三	『元禄世相志』	明治38年(1905)	博文館	当館
5	齋藤隆三	『近世世相史』	明治42年(1909)	博文館	当館
6	齋藤隆三・柴田常恵 編	『中尊寺大観』	大正7年(1918)	精華社	個人蔵
7	齋藤隆三 監修	『新古畫粹』第八編 (菱田春草)	大正8年(1919)	新古畫粹社	個人蔵
8	齋藤隆三	『江戸時代前半期の世相と衣装風俗』	昭和8年(1933)	大塚巧藝社	当館
9	齋藤隆三	『大痴芋銭』	昭和16年(1941)	創元社	個人蔵
10	齋藤隆三	『日本美術院史』	昭和19年(1944)	創元社	個人蔵
11	齋藤隆三	『藝苑今昔』	昭和23年(1948)	創元社	個人蔵
12	安田靉彦	『守谷志』刊行の祝辞	昭和25年(1950)	紙・墨	個人蔵
参考		『守谷志』(改訂増補版)	昭和24年(1949)	私家版	当館

#### 【コラム】長塚節との交友

13	長塚節	『土』	明治45年(1912)	春陽堂	個人蔵
14	長塚節	利根河口の歌	明治39年(1906)	紙本・墨	個人蔵
15	長塚節	落栗の歌	大正3年(1914)	紙本・墨	個人蔵

### 第二章：五浦藝苑 天心たちとの出会い

No.	作者名	資料名	製作年	材質／発行	所蔵
16	横山大観	釈迦	明治40年(1907)	絹本・彩色	個人蔵
17	横山大観	佛陀	明治40年(1907)	絹本・彩色	個人蔵
18	横山大観	書簡・齋藤隆三宛	明治40年(1907)	紙・墨	個人蔵
19	横山大観	湖上泛舟	明治40年頃(c. 1907)	紙本・彩色	個人蔵
20	横山大観	流燈	明治42年(1909)	絹本・彩色	茨城県近代美術館
21	横山大観	書簡・齋藤隆三宛	明治42年(1909)	紙・墨	個人蔵
22	横山大観	山路	明治44年(1911)	絹本・彩色	廣澤美術館
23	下村観山	独釣	明治40年(1907)	絹本・彩色	個人蔵
24	下村観山	大原御幸	明治41年(1908)	絹本・彩色	東京国立近代美術館
25	岡倉天心	書簡・下村観山宛	明治41年(1908)	紙・墨	個人蔵
26	横山大観	五浦	大正11年頃(c. 1922)	紙本・彩色	個人蔵
27	下村観山	六角堂	大正11年頃(c. 1922)	絹本・彩色	個人蔵

No.	作者名	資料名	製作年	材質／発行	所蔵
28	菱田春草	松籟(岡倉天心五浦旧宅書斎小襖絵試作)	明治38年(1905)	紙本・墨画金泥	茨城県近代美術館
29	菱田春草	雨中牡丹	明治40年(1907)	絹本・彩色	個人蔵 ※展示期間は10/8—10/16
30	菱田春草	旭日	明治40年(1907)	絹本・彩色	個人蔵 ※展示期間は10/18—11/27
31	菱田春草	萩	明治40年(1907)	絹本・彩色	個人蔵
32	菱田春草	林和靖	明治41年(1908)	絹本・彩色	茨城県近代美術館
33	菱田春草	書簡・齋藤隆三宛	明治41年(1908)	紙・墨	個人蔵
34	菱田春草	月下の雁	明治42年(1909)	絹本・彩色	個人蔵 ※展示期間は10/8—10/16
35	菱田春草	猫に鳥	明治43年(1910)	紙本・金地・彩色	茨城県近代美術館
36	木村武山	義家勿来関	明治40~41年頃 (c. 1907-1908)	絹本・彩色	個人蔵 ※展示期間は10/18—11/27
37	平櫛田中	飯村丈三郎翁像	大正13年(1924)	木彫(桜材)	個人蔵
参考		『天心全集』	大正11年(1922)	日本美術院	当館

### 【コラム】岡倉天心の顕彰活動

38	岡倉天心	漢詩「影」	不詳	紙・墨	個人蔵
39	岡倉天心	支那旅行日誌	明治26年(1893)	紙・墨	日本美術院
40	岡倉天心	五浦仲秋観月会記章(正風)	明治40年(1907)	絹・墨・彩色	当館
41	齋藤隆三	『岡倉天心』	昭和35年(1960)	吉川弘文館	個人蔵
42	齋藤隆三	原稿・岡倉天心事展	不詳	原稿用紙(約1200枚)・ インク	個人蔵
43	小林古径	『岡倉天心全集』装幀原画	昭和19年頃(c. 1944)	紙本・彩色	個人蔵
44	岩橋英遠	五浦六角堂	昭和34年頃(c. 1959)	紙本・彩色	個人蔵
参考		『美術史学』78号(復刻版)	昭和18年(1943) (昭和52年復刻)	国書刊行会	当館
参考		『岡倉天心全集』	昭和19年(1944)	創元社	当館

### 第三章：齋藤隆三、再興日本美術院を語る

No.	作者名	資料名	製作年	材質／発行	所蔵
45	横山大観	つたもみじ	大正6年(1917)	紙本・彩色	個人蔵
46	横山大観	鶉	大正14年(1925)	絹本・彩色	水野美術館 ※展示期間は11/1—11/27
47	横山大観	百合花	大正15年(1926)	紙本・彩色	水野美術館 ※展示期間は10/8—10/30
48	横山大観	桃花	昭和2年(1927)	紙本・彩色	個人蔵
49	横山大観	紫山返照	昭和10年(1935)	紙本・墨画	茨城県近代美術館
50	横山大観	朝嶺	昭和12年(1937)	絹本・墨画	個人蔵
51	小川芋銭	肉案	大正6年(1917)	紙本・墨画	茨城県近代美術館
52	小川芋銭	木精	大正12年(1923)	絹本・彩色	坂東市立資料館(坂東郷土館ミュージズ)
53	小川芋銭	夢中野干燈	大正14年(1925)	紙本・墨画	茨城県近代美術館
54	小川芋銭	無心庵	昭和2年(1927)	紙本・墨	個人蔵
55	小川芋銭	畑のお化け	昭和4年(1929)	絹本・彩色	個人蔵
56	小川芋銭	書簡・齋藤隆三宛	昭和4年(1929)	紙・墨	個人蔵
57	小川芋銭	江村六月、雲巒烟水	昭和10年(1935)	絹本・彩色	茨城県近代美術館
58	小川芋銭	書簡・齋藤隆三宛	昭和10年(1935)	紙・墨	個人蔵
59	小川芋銭	書簡集・篠目八郎兵衛宛	昭和12年(1937) (齋藤隆三識)	紙・墨	茨城県近代美術館
60	小川芋銭	霞ヶ浦	昭和10年(1935)	紙本・墨画	茨城県近代美術館
61	小川芋銭	奥の細道 草の戸	昭和12年(1937)	紙本・彩色	個人蔵
62	小川芋銭	寿老	昭和12年(1937)	紙本・彩色	茨城県近代美術館
63	小川芋銭	草の汁		紙・墨	個人蔵

No.	作者名	資料名	製作年	材質／発行	所蔵
64	下村観山	弱法師下図	大正4年頃(c. 1915)	紙本・彩色	個人蔵
65	下村観山	天心岡倉先生(草稿)	大正11年(1922)	紙本・彩色	東京藝術大学
66	富田溪仙	淀城	昭和5年(1930)	絹本・彩色	個人蔵
67	小林古径	機織	大正15年(1926)	紙本・彩色	東京国立近代美術館
68	安田靫彦	日食	大正14年(1925)	紙本・彩色	東京国立近代美術館
69	安田靫彦	摩訶迦羅天像	昭和19年(1944)	紙本・彩色	個人蔵
70	安田靫彦	菊御作(小下図)	昭和18年頃(c. 1943)	紙本・墨画	個人蔵
71	川端龍子	火生	大正10年(1921)	絹本・彩色	大田区立龍子記念館
72	川端龍子	胎蔵	大正12年(1923)	絹本・彩色	個人蔵
73	前田青邨	下村観山居士像	昭和5年(1930)	紙本・墨画	日本美術院
74	堅山南風	白雨	昭和26年(1951)	紙本・彩色	東京国立近代美術館
75	奥村土牛	鴨	昭和11年(1936)	紙本・彩色	東京国立近代美術館
76	太田聴雨	西郷南洲と橋本景岳	昭和18年頃(c. 1943)	紙本・彩色	茨城県近代美術館
77	酒井三良	山村雪	昭和11年(1936)	紙本・彩色	個人蔵
78	中島清之	ある肖像	昭和42年(1967)	紙本・彩色	個人蔵
79	片岡球子	齋藤隆三像	昭和30年(1955)	紙本・彩色	個人蔵
80	平櫛田中	蕉翁	昭和9年頃(c. 1934)	木彫彩色	個人蔵
81	平櫛田中	雲林子	昭和10年(1935)	木彫	個人蔵
82	平櫛田中	辰澤氏像	昭和10年(1935)	木彫彩色	パラミタミュージアム
83	新海竹蔵	馬	昭和9年(1934)	ブロンズ	個人蔵
84	新海竹蔵	運慶	不詳	木彫彩色	個人蔵
85	日本美術院絵画 部同人	桃水帖	昭和7年(1932)		個人蔵
86		受賞記念画帖	昭和23年(1948)	紙本・彩色	個人蔵
87	齋藤隆三、大智 勝観、奥村土牛、 酒井三良	和鳴	昭和27年(1952)	紙本・彩色	個人蔵
88	齋藤隆三	藝苑遺珠			個人蔵
89	横山大観	絵葉書(田園梅花)	大正8年頃(c. 1919)	紙・彩色	個人蔵
90	横山大観	絵葉書・齋藤隆三宛	昭和5年(1930)	紙・インク	個人蔵
91	菱田春草	絵葉書(海上月明)	明治41年頃(c. 1908)	紙・彩色	個人蔵
92	木村武山	絵葉書(五浦巖観)	明治40年頃(c. 1907)	紙・彩色	個人蔵
93		絵葉書・齋藤隆三宛	大正11年(1922)	紙・インク	個人蔵
94	前田青邨	絵葉書・齋藤隆三宛	昭和35年(1960)	紙・墨	個人蔵
95	酒井三良	絵葉書・齋藤隆三宛	昭和9年(1934)	紙・墨	個人蔵
96	堅山南風	絵葉書・齋藤隆三宛	昭和26年(1951)	紙・彩色	個人蔵
参考		『芋銭子開七画冊』	昭和3年(1928)	大塚巧藝社	当館
参考		小刀・箸			国立大学法人 茨城 大学蔵

### 【コラム】 齋藤隆三の著作と装幀の世界

97	齋藤隆三	『新美術史』	大正6年(1917)	春陽堂	個人蔵
98	横山大観	『新美術史』装幀原画	大正6年頃(c. 1917)	絹本・彩色	個人蔵
99	木村武山	『新美術史』装幀原画	大正6年頃(c. 1917)	絹本・彩色	個人蔵
100	齋藤隆三	『畫題辭典』	大正8年(1919)	新古畫粹社	個人蔵
101	齋藤隆三	『美術行脚 古社寺めぐり』	大正10年(1921)	博文館	当館
102	横山大観	絵葉書(東山)	大正10年頃(c. 1921)	紙・墨	個人蔵
103	下村観山	絵葉書(夢殿)	大正10年頃(c. 1921)	紙・彩色	個人蔵
104	齋藤隆三	『近世日本世相史』	大正14年(1925)	博文館	当館
105	安田靫彦	『近世日本世相史』装幀原画	大正14年頃(c. 1925)	紙本・彩色	個人蔵
106	齋藤隆三	『趣味の旅 古社寺をたづね て』	昭和2年(1927) (第三版)	博文館	個人蔵
107	齋藤隆三	『近世時様風俗』	昭和10年(1935)	三省堂	当館

No.	作者名	資料名	製作年	材質／発行	所蔵
108	前田青邨	『近世時様風俗』原画	昭和10年頃(c. 1935)	紙本・彩色	個人蔵
109		『芋銭子文翰全集』上巻	昭和14年(1939)	中央公論社	当館
110	小川芋銭	『芋銭子文翰全集』装幀原画	昭和2年(1927)	絹本・彩色	個人蔵
111	齋藤隆三	『史郷守谷』	昭和30年(1955)	私家版	個人蔵
112	奥村土牛	『史郷守谷』装幀原画	昭和30年頃(c. 1955)	紙本・彩色	個人蔵
113	齋藤隆三	『藝苑雑筆』	昭和32年(1957)	茨城文化社	個人蔵
114	前田青邨	『藝苑雑筆』装幀原画	昭和32年頃(c. 1957)	紙本・彩色	個人蔵
115	齋藤隆三	『横山大観』	昭和33年(1958)	中央公論美術出版	個人蔵
116	横山大観	『横山大観』装幀原画	昭和19年頃(c. 1944)	紙本・墨画	個人蔵
117	齋藤隆三	『自叙傳』	昭和36年(1961)	私家版	個人蔵
118	平櫛田中	『自叙傳』題字	昭和36年(1961)	紙・墨	個人蔵

#### 第四章：無古今 齋藤隆三と茨城の古美術

No.	作者名	資料名	製作年	材質／発行	所蔵
119		浮彫如意輪観音坐像	平安時代	木彫	小松寺
120		十六羅漢像	鎌倉時代	絹本・彩色	金龍寺 ※展示期間は第一～八尊者が10/8—10/30。第九～十六尊者は11/1—11/27。
121	小川芋銭	書簡・齋藤隆三宛	昭和3年(1928)	紙・墨	個人蔵
122	林十江	高士酔帰図	江戸時代	紙本・彩色	個人蔵
123	林十江	松下吹笛図	江戸時代	紙本・彩色	茨城県立歴史館
124	林十江	千鳥図	江戸時代	紙本・墨画	個人蔵
125	林十江	柳燕図	江戸時代	紙本・墨画	個人蔵
126	萩谷罌喬	かけす図	江戸時代	紙本・彩色	個人蔵
127	萩谷罌喬	紅葉鶴図	江戸時代	紙本・彩色	個人蔵
128	木村武山	不動明王(模写)	昭和10年頃(c. 1935)	紙本・彩色	個人蔵

# のぞいてみよう!! 東京美術学校課題画展

- 会期** 2022(令和4)年12月10日(土)～2023(令和5)年2月5日(日)
- 主催** 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター** B2
- チラシ** A4
- リーフレット** A5 8頁
- 開催日数** 47日間
- 入場者数** 6,832人
- 観覧料** 一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／高大生210(150)円／小中生150(100)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※土曜日は高校生以下無料

●**出品点数** 全55点

●**内容解説**

明治22(1889)年、現在の東京藝術大学美術学部の前身である東京美術学校が開校した。文明開化に伴う急速な西欧化に対し、日本独自の美術文化を守り、継承していく必要性を思案していた岡倉天心(1863-1913)は、その中心となって開設・運営に携わり、芸術家たちの育成に奮励した。

天心ゆかりの地五浦に所在する当館では、東京美術学校の学生たちが授業や入学試験、進級試験等で描いたとされる課題画を2850点所蔵している。

本展覧会では、当館が所蔵する課題画コレクションの中から、臨画、デッサン、新案といった課題ごとに作品を紹介した。また、同じ課題に励んだ学生たちの作品から、作者による表現の違いや横山大観をはじめとする同校で学んだ巨匠たちの若き日の研鑽の様子も紹介した。

●**担当** 川島帆乃夏(学芸補助員)

●**YouTubeによる展覧会紹介**

- ・のぞいてみよう!! 東京美術学校課題画展

●**関連事業**

展覧会担当による作品解説

日時 令和4年12月17日(土)・令和5年1月15日(日)  
各日午後1時30分～2時

担当 川島帆乃夏(学芸補助員)

課題画に挑戦!

日時 令和5年1月21日(土)・22日(日)  
各日午前10時～11時

日本画体験実技講座

日時 令和5年1月28日(土)～29日(日)  
午前10時～午後4時

講師 仲裕行(日本美術院 特待)

年忘れ! 五浦寄席

日時 令和4年12月25日(日) 午前11時～/午後2時～  
出演 二松亭ちゃん平(社会人落語家)、相模亭とげ蔵(社会人落語家)

新春邦楽コンサート

日時 令和5年1月7日(土) 午前11時～/午後2時～  
出演 鈴木貴之(和太鼓)

●**関連記事**

- ・川島帆乃夏くいつらだより>13 課題画に見る 若き巨匠 12月4日【東京新聞】
- ・北茨城・県天心記念五浦美術館「東京美術学校課題画展」 12月8日【よみうりタウンニュース】
- ・ギャラリー 東京美術学校課題画展 12月9日【読売新聞】
- ・のぞいてみよう!! 東京美術学校課題画展 12月16日【毎日新聞】
- ・東京美術学校課題画展 12月18日【毎日新聞】
- ・学生のデッサン・写生55点 若き日の大観「臨画」も北茨城 12月31日【茨城新聞】
- ・アートとイベント いばらき 若き日の巨匠 研鑽をのぞく「東京美術学校課題画展」(北茨城市) 1月14日【産経新聞】

●**関連放送**

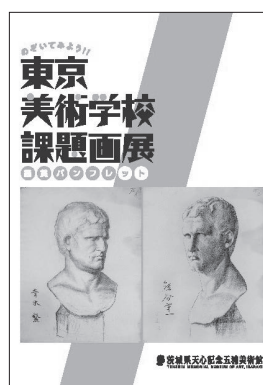
- ・「クロスアイ(動画ニュース)」12月31日【茨城放送】
- ・「いばキラTV(動画配信)」1月6日【茨城放送】



ポスター B2



チラシ A4



リーフレット

## ● 出品作品一覧

No.	作者名	資料名	制作年	形状・材質	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	岡倉天心	書簡・黒川真頼宛	明治21年(1888)	紙本・墨	封筒：18.5×6.9 巻紙：18.3×112.5	当館
<b>画格</b>						
2	井上宣文	線(木版手本付属)	明治22～23年頃 (c. 1889-1890)	紙本・墨	28.2×20.0	当館
3	井上宣文	線	明治22～23年頃 (c. 1889-1890)	紙本・墨	27.7×23.5	当館
4	下村観山	線	明治22～23年頃 (c. 1889-1890)	紙本・墨	19.8×27.5	当館
5	横山大観	臨画(維摩)	明治22年(1889)	紙本・墨画	71.9×58.1	茨城県近代美術館
6	六角紫水	臨画(維摩)	明治22年(1889)	紙本・墨画	74.5×61.4	当館
7	倉田徳松	臨画(官女)	明治23年(1890)	紙本・墨画	60.6×38.0	当館
8	島田友春	臨画(官女)	明治23年(1890)	紙本・墨画	60.5×39.5	当館
9	溝口禎次郎	臨画(官女)	明治23年(1890)	紙本・墨画	59.5×40.3	当館
10	芳川流外	臨画(齐后破環図)	明治22～24年頃 (c. 1889-1891)	紙本・墨画	53.2×28.8	当館
11	板谷波山	臨画(齐后破環図)	明治22～24年頃 (c. 1889-1891)	紙本・墨画	53.0×28.8	当館
12	菅紀一郎	臨画(齐后破環図)	明治22～24年頃 (c. 1889-1891)	紙本・墨画	53.2×28.8	当館
13	石野松堂	臨模(芦におしどり)	明治28年(1895)	紙本・墨画	54.8×40.0	当館
<b>写生</b>						
14	横山大観	写生(風呂敷包み)	明治22～23年頃 (c. 1889-1890)	紙本・墨画	38.9×27.3	当館
15	下村観山	写生(風呂敷包み)	明治22～23年頃 (c. 1889-1890)	紙本・墨画	24.2×33.5	当館
16	横山大観	写生(蓮根、くわい)	明治22年頃 (c. 1889)	紙本・墨画	27.2×38.2	当館
17	木村武山	写生(笹)	明治25年(1892)	紙本・墨画	26.0×36.5	個人
18	岡本一平	写生(海芋)	明治38年頃 (c. 1905)	水彩・紙	47.2×33.5	当館
19	藤田嗣治	写生(海芋)	明治38年頃 (c. 1905)	水彩・紙	47.8×34.2	当館
<b>図案</b>						
20	六角紫水	図案	明治22～26年頃 (c. 1889-1893)	紙本・墨画	35.0×24.7	当館
21	下村観山	図案	明治22～27年頃 (c. 1889-1894)	紙本・墨画	24.2×33.2	当館
22	新納忠之介	図案	明治23年(1890)	紙本・墨画	32.5×47.8	当館
23	志賀貞三郎	図案	明治22～27年頃 (c. 1889-1894)	紙本・墨画	27.5×40.0	当館
24	早崎稔吉	図案(漆工)	明治27年(1894)	紙本・彩色	39.0×27.2	当館
25	結城素明	図案(漆工)	明治27年頃 (c. 1894)	紙本・彩色	39.5×27.7	当館
26	伊井慶泉	図案	明治39年頃 (c. 1906)	紙本・彩色	58.2×38.2	当館
27	高橋五山	図案	明治39年頃 (c. 1906)	紙本・彩色	58.3×38.0	当館
<b>デッサン</b>						
28	中澤弘光	石膏デッサン	明治30～33年頃 (c. 1897-1900)	木炭・紙	61.0×47.5	当館
29	青木繁	石膏デッサン	明治33～37年頃 (c. 1900-1904)	木炭・紙	62.2×48.2	当館

No.	作者名	資料名	制作年	形状・材質	寸法(縦×横)cm	所蔵
30	熊谷守一	石膏デッサン	明治33～37年頃 (c. 1900-1904)	木炭・紙	62.0×48.0	当館
31	山下新太郎	石膏デッサン	明治34～37年頃 (c. 1901-1904)	木炭・紙	61.0×47.0	当館
32	児島虎次郎	石膏デッサン	明治35年頃 (c. 1902)	木炭・紙	63.2×47.8	当館
33	森田恒友	石膏デッサン	明治35～39年頃 (c. 1902-1906)	木炭・紙	63.3×47.8	当館
34	黒木資一	人体デッサン	大正2～8年頃 (c. 1913-1919)	木炭・紙	64.0×48.0	当館
35	藤崎邁象	人体デッサン	大正3～8年頃 (c. 1914-1919)	木炭・紙	47.6×61.5	当館
36	松川久衛	人体デッサン	大正3～8年頃 (c. 1914-1919)	木炭・紙	62.5×47.5	当館
37	小川三樹	人体デッサン	大正3～4年頃 (c. 1914-1915)	木炭・紙	61.8×48.2	当館
<b>新案</b>						
38	六角紫水	新案(新年試筆)	明治23～24年頃 (c. 1890-1891)	紙本・墨画	62.4×45.0	当館
39	板谷波山	新案(鷺)	明治23～27年頃 (c. 1890-1894)	紙本・墨画	60.1×44.6	当館
40	新納忠之介	新案	明治23年(1890)	紙本・墨画	33.2×24.5	当館
41	菅紀一郎	新案(歴史物語)	明治23～26年頃 (c. 1890-1893)	紙本・墨画	31.2×45.0	当館
42	菱田春草	新案(新年試筆)	明治24年(1891)	紙本・墨画	61.2×44.6	当館
43	筆谷等観	新案(山水)	明治27～33年頃 (c. 1894-1900)	紙本・墨画	63.0×45.8	当館
44	新納忠之介	寿老人額	明治27年(1894)	木彫	109.0×76.0	当館
45	東京美術学校 校友会	褒状・新納忠之介宛	明治27年(1894)	紙・墨	31.0×43.2	当館
<b>仮入学生制度</b>						
46	金山平三	風景スケッチ	明治37年(1904)	水彩・紙	45.7×33.7	当館
47	近藤浩一路	風景スケッチ	明治37年(1904)	水彩・紙	34.5×46.0	当館
<b>卒業とその後</b>						
48	東京美術学校	卒業証・新納忠之介宛	明治27年(1894)	紙・墨、木版、 金箔	41.5×55.5	当館
49	菱田春草	春の朝	明治35年(1902)	絹本・彩色・軸装 (No. 50と対幅)	122.0×50.8	茨城県近代美術館
50	横山大観	秋の夕	明治35年(1902)	絹本・彩色・軸装 (No. 49と対幅)	121.7×50.5	茨城県近代美術館
51	下村観山	維摩	大正7年頃 (c. 1918)	絹本・彩色・軸装	129.8×50.5	茨城県近代美術館
52	木村武山	春暖 古面蘭陵王	昭和7～10年頃 (c. 1932-1935)	絹本・彩色・軸装	43.3×89.4	個人
53	中澤弘光	水郷より筑波遠望	昭和30年代 (c. 1955-1964)	油彩・麻布・額装	45.5×53.0	茨城県近代美術館
54	山下新太郎	庭上	昭和21年(1946)	油彩・麻布・額装	72.0×59.5	茨城県近代美術館
55	森田恒友	風景	明治45年(1912)	油彩・麻布・額装	65.0×80.0	茨城県近代美術館



## 旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～

- 会期 2023(令和5)年2月10日(金)～4月23日(日)  
※前期3月19日(日)まで、後期3月21日(火・祝)から
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- リーフレット 縦20.1×横22.5cm 16頁
- 開催日数 63日間(令和4年度は43日間)
- 入場者数 5,958人(令和4年度中のみ)
- 観覧料 一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／  
高大生210(150)円／小中生150(100)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※春休み期間(3月25日、4月1日)を除く土曜日は高校生以下無料  
※2月11日(土)は満70歳以上無料

●出品点数 全31点

### ●内容解説

大正6年(1917)に4人の日本画家、飛田周山(1877-1945)、山内多門(1878-1932)、勝田蕉琴(1879-1963)、水上泰生(1882-1951)によって描かれた連作《水郷めぐり》は、利根川流域から茨城県南部の旅行をもとに生まれた作品である。画家たちは道中各所で写生し、それぞれ幅六尺前後の横長の画面に仕上げた。全体が水郷の湿潤な空気を伝えるような、墨の描写を主とした文人画調の連作となっている。

一連の作品は旅を共にした小池北風の紀行文とともに翌大正7年、書籍『水郷めぐり』(美術研精会)として出版され、評判となった。さらに大正8年には、前述の4作家に加えて野田九浦らが参加し、小田原、熱海周辺の旅行記《半嶋めぐり》が作品化された。

本展覧会は、現在、所在が確認できる《水郷めぐり》31図(個人蔵)を一堂に公開する、およそ100年ぶりの機会として開催した。4人の日本画家が描いた連作により、大正期の利根川流域、茨城県南部の風景を、旅の様子とともに紹介した。

●担当 井野功一(首席学芸員)

### ●YouTubeによる展覧会紹介

- ・天心記念五浦美術館 企画展「旅するチバラキ～連作《水郷めぐり》の全貌～」のご紹介

### ●関連事業

- 講演会「近世以前の鹿島と香取の風景」  
日時 3月18日(土) 午後1時30分～3時  
講師 薮政人(茨城県立歴史館学芸員)  
担当学芸員によるギャラリートーク  
日時 2月26日(日)・3月21日(火・祝)  
各日午後1時30分～2時  
担当 井野功一(首席学芸員)

### ●関連記事

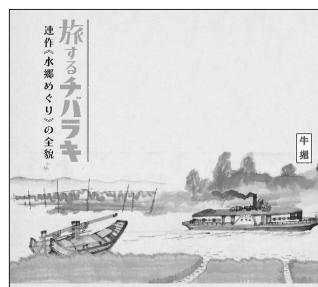
- ・「旅するチバラキ 連作《水郷めぐり》の全貌」 県天心記念五浦美術館(北茨城)で2月～  
1月26日【よみうりタウンニュース】
- ・井野功一<いづらだより>14 画趣富む道中の連作  
2月5日【東京新聞】
- ・旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～  
2月10日【毎日新聞】
- ・旅情を誘う 水郷の風景 100年ぶり飛田周山ら連作一堂 県五浦美術館で企画展  
2月24日【茨城新聞】
- ・自然豊かな水郷めぐり 飛田周山ら 水辺や農村全31図 北茨城 県天心記念五浦美術館  
3月9日【茨城新聞】
- ・旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～  
3月10日【産経新聞】
- ・旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～  
3月16日【朝日新聞】
- ・利根川流域 4人の写生 「旅するチバラキ～連作<水郷めぐり>の全貌～」 県天心記念五浦美術館  
3月24日【読売新聞】
- ・「旅するチバラキ～連作《水郷めぐり》の全貌」から  
2月6日【北茨城市議会だよりNo.110】
- ・アートシーンを訪ねる 企画展 旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～  
【マネジメントスクエア397号】
- ・「旅するチバラキ」展 特集  
3月31日【日々の新聞 第482号】
- 関連放送
  - ・「クロスアイ(動画ニュース)」 2月24日【茨城放送】
  - ・「いばキラTV(動画配信)」 3月1日【茨城放送】



ポスター B2



チラシ A4



リーフレット

● 出品作品一覧

※「水郷めぐり」連作の寸法は各約48.5cm×182cm

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	展示期間
水郷めぐり					
1	勝田蕉琴	刀根茶屋	大正6年(1917)	紙本・墨画	前期
2	山内多門	風波満帆 戸田井	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
3	飛田周山	風雨泊舟 佐原	大正6年(1917)	紙本・墨画	前後期
4	勝田蕉琴	佐原港口	大正6年(1917)	紙本・墨画	前期
5	水上泰生	新緑入江 十六島	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前後期
6	勝田蕉琴	筑波遠望	大正6年(1917)	紙本・墨画	前後期
7	勝田蕉琴	浮島網干	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
8	山内多門	浮島水閣	大正6年(1917)	紙本・淡彩	後期
9	水上泰生	遠帆遠水 浮島	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前後期
10	飛田周山	浮洲仙寰 浮島	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前期
11	山内多門	魚見小屋 十六島	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前期
12	飛田周山	嵐光水色 牛堀	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前後期
13	勝田蕉琴	潮来渡船場	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
14	山内多門	菖蒲咲くあたり 潮来	大正6年(1917)	紙本・墨画	前後期
15	飛田周山	神苑暁靄 鹿島	大正6年(1917)	紙本・淡彩	後期
16	水上泰生	華表暎波 北浦	大正6年(1917)	紙本・墨画	前期
17	勝田蕉琴	北浦簀子	大正6年(1917)	紙本・墨画	前期
18	山内多門	濁憶江柳 百本杭	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
19	山内多門	北浦乃薪山 鉾田	大正6年(1917)	紙本・墨画	前後期
20	飛田周山	水邨暮色 北浦	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前期
21	勝田蕉琴	鉾田水田	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
22	飛田周山	月光燈影 鉾田 北浦橋	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前後期
23	水上泰生	江驛停舟 鉾田	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
24	山内多門	満目蕭條 鹿島灘の砂丘	大正6年(1917)	紙本・墨画	前期
25	勝田蕉琴	大洗松籟	大正6年(1917)	紙本・墨画	前後期
26	飛田周山	水郷暮色 土浦	大正6年(1917)	紙本・淡彩	前期
27	勝田蕉琴	筑波白雲	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
28	飛田周山	雲烟吞吐 筑波	大正6年(1917)	紙本・墨画	後期
29	山内多門	筑麓幽境 白瀧	大正7年頃(c. 1918)	紙本・墨画	前期
30	飛田周山	真鍋ノ大並木	大正7年頃(c. 1918)	紙本・墨画	後期
31	勝田蕉琴	漁家朝色	大正7年頃(c. 1918)	紙本・淡彩	前期

画卷	水郷めぐり繪卷	大正6～7年頃(c. 1917-18)	飛田周山、勝田蕉琴、水上泰生、山内多門(執筆順)	25cm×612cm
画卷	半島めぐり繪卷	大正8年頃(c. 1919)	荒木十畝、山内多門、飛田周山、田中咄哉、野田九浦、勝田蕉琴、水上泰生、橋本邦助(執筆順)	25cm×770cm
書籍	『水郷めぐり』	大正7年(1918) ※大正8年(1919)再版	小池北風著(飛田周山装幀)	美術研精会発行
書籍	『半島めぐり』	大正8年(1919)	小池北風著	美術研精会発行

※書籍『半島めぐり』(茨城県天心記念五浦美術館蔵)以外は全て個人蔵

## 2 岡倉天心記念室

- 概要** 岡倉天心記念室では、多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちについて、茨城県近代美術館が所蔵する作品を中心に紹介した。また、天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

### (1) 五浦の作家たちの作品展示

#### ●令和3年度第5回展示

2022(令和4)年4月1日(金)～4月28日(木)

※令和3年度第5回展示は令和3年12月28日(火)より展示を行っていたが、令和4年2月11日(金)から3月31日(木)まで、照明工事のため休室。一部展示内容を変更し、4月1日(金)より再開。

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
<導入>			
新海竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜 [遺愛品]	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	煎茶茶碗 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	銅製急須 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
平櫛田中	鶴髻	昭和40年	個人(寄託)
岡倉天心	羽織 [天心着用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	漢詩「五浦即事」		複製(原資料：(公財)横山大観記念館)
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久2年	当館
	文部省辞令(音楽取調掛 明治13年10月18日)	明治13年	国立大学法人茨城大学
	文部省辞令(京阪地方出張 明治17年6月25日)	明治17年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			
岡倉天心	欧州視察日誌	明治20年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
岡倉天心	奈良古社寺調査手録(救世観音スケッチ)	明治19年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
臨時全国宝物取調局	全国宝物取調書	明治30年	当館
岡倉天心	支那旅行日誌	明治26年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
岡倉天心	経歴書(支那旅行雑綴より)	明治26～27年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
	東京美術学校校服 [木村武山着用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽 [下村観山着用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
横山秀麿(大観)	写生(蓮根、くわい) [東京美術学校授業課題画]	明治22年	複製(原資料：当館)
下村晴三郎(観山)	写生(蕪) [東京美術学校授業課題画]	明治22～27年頃	当館
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	『日本美術』(第1号明治31年10月)	明治31年	当館
横山大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉天心	『東洋の覚醒』(草稿)	明治35年	複製(原資料：個人)
岡倉天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	複製(原資料：個人)
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦”日本美術院の移転			
岡倉天心	日の出(画賛)	明治37年	個人(寄託)
岡倉天心	月(画賛)	明治37年	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
横山大観	鹿島神宮	昭和3年	茨城県近代美術館
横山大観	筑波山	昭和3年	茨城県近代美術館
菱田春草	五浦ノ月	明治40～41年頃	茨城県近代美術館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
木村武山	五浦の朝	明治39～45年頃	茨城県近代美術館
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
岡倉天心	書簡・横山大観夫妻宛	明治39年	複製(原資料：(公財)横山大観記念館)
横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山	四者連名案内状・鈴木督次宛	明治39年	複製(原資料：個人)
横山大観	招待状(仲秋観月園遊会)(明治40年9月10日)	明治40年	複製(原資料：個人)
渡辺鼓堂	「五浦の月」[[『いはらき新聞』記事](明治40年9月26日)]	明治40年	複製(原資料：当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉天心	漢詩「無題(仰天有始)」		複製(原資料：(公財)横山大観記念館)
岡倉天心	遺言状(明治45年6月16日)	明治45年	複製(原資料：当館)
岡倉天心	書簡・プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー宛(大正元年10月12日)	大正元年	複製(原資料：タゴール国際大学 [ビスバ・バラティ大学])
岡倉天心	書簡・プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー宛(大正2年8月2日)	大正2年	複製(原資料：タゴール国際大学 [ビスバ・バラティ大学])
プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正元年10月1日)	大正元年	複製(原資料：当館)
⑧ テーマ展示「新納忠之介による明治32年仏像調査について」			
	内務省辞令・新納忠之介宛(「東京府神奈川県静岡県へ出張ヲ命ス」明治32年9月27日)	明治32年	当館
	内務省辞令・新納忠之介宛(「古社寺保存計画ノ調査ヲ囑託ス」明治32年9月27日)	明治32年	当館
新納忠之介	ノート(調査記録・静岡、神奈川)	明治32年頃	当館
新納忠之介	ノート(調査記録・神奈川)	明治32年頃	当館
⑨ 創作者天心			
<英文著作3部作>			
岡倉天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版](ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版](ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
<創作シナリオ>			
岡倉天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正2年	複製(原資料：当館)
<詩作と研究>			
岡倉天心	草稿(ヨーロッパの芸術と宗教についての内容)	明治30年代頃	当館
<遺愛品>			
	端溪荷葉硯 [天心所用]		国立大学法人茨城大学
	水盂および匙 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷 [天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)

## ●令和4年度第1回展示

2022(令和4)年4月29日(金・祝)～7月3日(月)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
<導入>			
新海竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛田中	鶴髻	昭和40年	個人(寄託)
荒井経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和3年	当館
岡倉天心	羽織 [天心着用]	明治37年～大正2年頃	複製(原資料:国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	漢詩「五浦即事」	明治36年～大正2年頃	個人(寄託)
① 生い立ちと修業時代			
橋本玉蘭斎編・画	横浜開港見聞誌	文久2年	当館
	文部省辞令(音楽取調掛 明治13年10月18日)	明治13年	国立大学法人茨城大学
	文部省辞令(京阪地方出張 明治17年6月25日)	明治17年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			
岡倉天心	書簡・佐野常民宛(明治19年9月24日)	明治19年	当館
臨時全国宝物取調局	全国宝物取調書	明治30年	当館
岡倉天心	書簡・新納忠之介宛(明治32年1月28日)	明治32年	当館
	東京美術学校校服 [木村武山着用]	明治24～29年頃	複製(原資料:国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽 [下村観山着用]	明治22～27年頃	複製(原資料:国立大学法人茨城大学)
下村晴三郎(観山)	写生(燕) [東京美術学校授業課題画]	明治22～27年頃	当館
菅紀一郎	臨画(徽宗桃鳩図) [東京美術学校授業課題画]	明治22～26年頃	当館
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
岡倉天心	書簡・大橋雅彦宛(明治34年5月9日)	明治34年	当館
横山大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料:(公財)日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	複製(原資料:個人)
ボストン美術館	中国日本美術部キュレーター承認通知	明治43年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地 “五浦” 日本美術院の移転			
横山大観	樹下美人	明治45年頃	茨城県近代美術館
横山大観	水國之夜	明治44年頃	茨城県近代美術館
下村観山	雨中鶯	明治41年頃	茨城県近代美術館
木村武山	帰雁	明治45-大正4年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料:国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
岡倉天心	書簡・矢部清助、河合寅次宛(明治39年6月13日)	明治39年	当館
横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山	仲秋観月園遊会招待状・大橋雅彦(明治40年9月14日)	明治40年	当館
渡辺鼓堂	「五浦の月」 [『いはらき新聞』記事] (明治40年9月26日)	明治40年	複製(原資料:当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉天心	書簡・早崎稗吉宛(明治44年6月21日)	明治44年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
ロジャー・E・フライ	書簡・岡倉天心宛(明治44年2月14日)	明治44年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正元年10月1日)	大正元年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正元年10月6日)	大正元年	当館
岡倉天心	書簡・プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー宛(大正元年10月12日)	大正元年	複製(原資料: タゴール国際大学 [ビスパ・バラティ大学])
⑧ テーマ展示「新納忠之介による明治32年仏像調査について」			
	内務省辞令・新納忠之介宛(「東京府神奈川県静岡県へ出張ヲ命ス」明治32年9月27日)	明治32年	当館
	内務省辞令・新納忠之介宛(「古社寺保存計画ノ調査ヲ囑託ス」明治32年9月27日)	明治32年	当館
新納忠之介	ノート(調査記録・静岡、神奈川)	明治32年頃	当館
新納忠之介	ノート(調査記録・神奈川)	明治32年頃	当館
⑨ 創作者天心			
<英文著作3部作>			
岡倉天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版](ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版](ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
<創作シナリオ>			
岡倉天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	複製(原資料: 国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	複製(原資料: 国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正2年	複製(原資料: 当館)
<詩作と研究>			
岡倉天心	草稿(ヨーロッパの芸術と宗教についての内容)	明治30年代頃	当館
<遺愛品>			
	端溪荷葉硯 [天心所用]	明治37年~大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	水盃および匙 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷 [天心所用]		複製(原資料: 国立大学法人茨城大学)

●令和4年度第2回展示

2022(令和4)年7月5日(火)~9月11日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
<導入>			
新海竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37年~大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛田中	鶴髻	昭和40年	個人(寄託)
荒井経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和3年	当館
岡倉天心	羽織 [天心着用]	明治37年~大正2年頃	複製(原資料: 国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	漢詩「五浦即事」	明治36年~大正2年頃	個人(寄託)
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久2年	当館
	文部省辞令(音楽取調掛 明治14年11月4日)	明治14年	国立大学法人茨城大学

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
	文部省辞令(京阪地方出張 明治15年9月6日)	明治15年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			
菱田三男治(春草)	写生(くわい) [東京美術学校授業課題画]	明治24年	当館
アーネスト・F・フェノロサ、岡倉天心	「日本美術史」講義録(西原猪太郎筆記)	明治24年頃	当館
岡倉天心	書簡・黒川真頼宛(明治21年10月16日)	明治21年	当館
臨時全国宝物取調局	全国宝物取調書	明治30年	当館
	東京美術学校校服 [木村武山着用]	明治24～29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽 [下村観山着用]	明治22～27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
岡倉天心	書簡・大橋雅彦宛(明治34年5月19日)	明治34年	当館
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
	横山大観、菱田春草展の目録	明治37年	個人(寄託)
岡倉天心	草稿(ヨーロッパの芸術と宗教についての内容)	明治30年代頃	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦”日本美術院の移転			
横山大観	岩礁の鶺鴒	明治37年	個人(寄託)
横山大観	松月雪景	明治37年	個人(寄託)
横山大観	雪影	明治37年	個人(寄託)
横山大観	風雪に鷺	明治37年	個人(寄託)
下村観山	帰獵の図	明治37年	個人(寄託)
菱田春草	帰漁	明治37年	茨城県近代美術館
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
岡倉天心	書簡・矢部清助宛(明治39年7月4日)	明治39年	当館
	岡倉天心邸離座敷平面図スケッチ		国立大学法人茨城大学
岡倉天心	書簡・新納忠之介宛(明治41年9月28日)	明治41年	当館
渡辺鼓堂	「五浦の月」[『いはらき新聞』記事](明治40年9月26日)	明治40年	複製(原資料：当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
ロジャー・E・フライ	書簡・岡倉天心宛(明治44年2月14日)	明治44年	当館
岡倉天心	書簡・九鬼隆一宛(大正2年8月1日)	大正2年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年3月3日)	大正2年	当館
岡倉天心	書簡・プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー宛(大正2年5月17日)	大正2年	複製(原資料：タゴール国際大学 [ビスバ・バラティ大学])
プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年5月28日)	大正2年	当館
⑧ 天心の遺愛品			
	端溪荷葉硯 [天心所用]	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷 [天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
⑨ 創作者天心			
< 英文著作3部作 >			
岡倉天心	『The Ideals of the East (東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館



作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
岡倉天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版](ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
<創作シナリオ>			
岡倉天心	「ATAKA(安宅)」(紙、タイプ稿)	明治37年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(紙、タイプ稿)	明治37年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	「The White Fox(白狐)」(紙、タイプ稿)	大正2年	複製(原資料：当館)
⑩ テーマ展示「雨華庵の松 酒井抱一を偲んで」			
	雨華会の記	大正4年	個人(寄託)

●令和4年度第3回展示

2022(令和4)年9月13日(火)～11月13日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
<導入>			
新海竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛田中	鶴髯	昭和40年	個人(寄託)
荒井経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和3年	当館
岡倉天心	羽織 [天心着用]	明治37年～大正2年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
橋本永邦	八大龍王画	大正元年	平潟小型船組合
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久2年	当館
岡倉由三郎	岡倉天心略歴	不詳	当館
	文部省辞令(京阪地方出張 明治17年2月8日)	明治17年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			
下村晴三郎(観山)	写生(貝) [東京美術学校授業課題画]	明治22～27年頃	当館
アーネスト・F・フェノロサ、岡倉天心	「日本美術史」講義録(西原猪太郎筆記)	明治24年頃	当館
岡倉天心	書簡・森田思軒宛(明治23年4月5日)	明治23年	国立大学法人茨城大学
	盃	明治25年頃	個人(寄託)
	東京美術学校校服 [木村武山着用]	明治24～29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽 [下村観山着用]	明治22～27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	八軒屋写真	明治30年代	個人
横山大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
	横山大観、菱田春草展の目録	明治37年	当館
岡倉天心	日本美術院欧米展新聞記事切抜帖	明治37-38年頃	当館
ガガネンドラナート・タゴール	書簡・岡倉天心宛(大正2年3月13日)	大正2年	当館
⑤ 新たな飛躍の地“五浦”日本美術院の移転			
横山大観	飛泉	明治35年	茨城県近代美術館
菱田春草	秋溪	明治35年	茨城県近代美術館
菱田春草	五浦ノ月	明治40-41年頃	茨城県近代美術館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
木村武山	曾我兄弟	明治39-40年頃	個人(寄託)
木村武山	涼夜 月に葡萄	大正9-10年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料: 国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
横山大観	書簡・新納忠之介宛(明治41年3月20日)	明治41年	当館
	日本美術院研究所平面図	明治39年頃	国立大学法人茨城大学
横山大観	指標木札	明治40年	国立大学法人茨城大学
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉天心	面会謝絶貼紙	不詳	個人
岡倉天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正2年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年3月3日)	大正2年	当館
岡倉天心	書簡・プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー宛(大正2年5月17日)	大正2年	複製(原資料: タゴール国際大学 [ピスバ・パラティ大学])
プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年5月28日)	大正2年	当館
⑧ 天心の遺愛品			
	端溪荷葉硯 [天心所用]	明治37年~大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷 [天心所用]		複製(原資料: 国立大学法人茨城大学)
⑨ 創作者天心			
< 英文著作3部作 >			
岡倉天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
< 詩作と研究 >			
岡倉天心	靈照女の事	明治45年頃以降	当館
⑩ テーマ展示「雨華庵の松 酒井抱一を偲んで」			
	雨華会の記	大正4年	個人(寄託)

●令和4年度第4回展示

2022(令和4)年11月15日(火)~2023(令和5)年1月15日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
< 導入 >			
新海竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37年~大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛田中	鶴髻	昭和40年	個人(寄託)
荒井経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和3年	当館
岡倉天心	羽織 [天心着用]	明治37年~大正2年頃	複製(原資料: 国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	菩提の閣	明治36~45年頃	当館
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久2年	当館
岡倉由三郎	岡倉家系図	昭和2年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
② 美術行政への参画と古美術の保存			
岡又太郎(吉寿・不崩)	写生(風呂敷包み) [東京美術学校授業課題画]		当館
アーネスト・F・フェノロサ、岡倉天心	「日本美術史」講義録(西原猪太郎筆記)	明治24年頃	当館
岡倉天心	書簡・森田思軒宛(明治23年)	明治23年	国立大学法人茨城大学
	盃	明治25年頃	個人(寄託)
	東京美術学校校服 [木村武山着用]	明治24～29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽 [下村観山着用]	明治22～27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	日本美術院創立五周年記念園遊会写真	明治35年	個人
横山大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
岡倉天心	日本美術院欧米展新聞記事切抜帖	明治37～38年頃	当館
岡倉天心	書簡・新納忠之介宛(明治38年6月30日)	明治38年	当館
岡倉天心	書簡・マーガレット・P・グラフィン宛(大正2年2月24日)	大正2年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦”日本美術院の移転			
木村武山	秋草図屏風	大正5～6年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
横山大観	書簡・新納忠之介宛(明治41年3月20日)	明治41年	当館
	横山大観邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学
	菱田春草邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉天心	面会謝絶貼紙	不詳	個人
岡倉天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正2年	当館
岡倉天心	書簡・プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー宛(大正2年5月8日)	大正2年	複製(原資料：タゴール国際大学 [ビスバ・バラティ大学])
プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年6月4日)	大正2年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年6月13日)	大正2年	当館
⑧ 天心の遺愛品			
	端溪荷葉硯 [天心所用]	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	水盃および匙 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷 [天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
⑨ 創作者天心			
< 英文著作3部作 >			
岡倉天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニューヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニューヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
< 詩作と研究 >			
岡倉天心	浮世絵概説	明治38年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
⑩ テーマ展示「雨華庵の松 酒井抱一を偲んで」			
	雨華会の記	大正4年	個人(寄託)

●令和4年度第5回展示

2023(令和5)年1月17日(火)～3月12日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
<導入>			
新海竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛田中	鶴髯	昭和40年	個人(寄託)
荒井経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和3年	当館
岡倉天心	羽織 [天心着用]	明治37年～大正2年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
ラビンドラナート・タゴール	オーム	大正5年	長松寺
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久2年	当館
鈴木真一	岡倉勘右衛門肖像写真	不詳	当館
	岡倉この肖像写真	不詳	当館
	岡倉由三郎肖像写真	明治37年頃	当館
② 美術行政への参画と古美術の保存			
本多佑輔(天城)	写生(炭) [東京美術学校授業課題画]	明治22～27年頃	当館
下村晴三郎(観山)	写生(炭) [東京美術学校授業課題画]	明治22～27年頃	当館
岡倉天心	書簡・森田思軒宛	不詳	当館
	盃	明治25年頃	個人(寄託)
	東京美術学校校服 [木村武山着用]	明治24～29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽 [下村観山着用]	明治22～27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	日本美術院正員徽章襷	不詳	国立大学法人茨城大学
横山大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
岡倉天心	日本美術院欧米展新聞記事切抜帖	明治37～38年頃	当館
岡倉天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦”日本美術院の移転			
横山大観	海嘯	明治38年頃	茨城県近代美術館
下村観山	日の出/雪梅	明治41年頃	茨城県近代美術館
木村武山	法然上人	大正6年	茨城県近代美術館
木村武山	旭日双鶏	昭和7～10年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
岡倉天心	書簡・矢部清助宛(明治39年9月17日)	明治39年	当館
渡辺鼓堂	「五浦の月」[『いはらき新聞』記事](明治40年9月26日)	明治40年	複製(原資料：当館)
	下村観山邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
	木村武山邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉天心	漢詩(無題)	明治45年・大正元年頃	当館
岡倉天心	遺言状	明治45年	当館
ブリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年6月4日)	大正2年	当館
ブリヤンバダ・デーヴィ・パネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年6月13日)	大正2年	当館
⑧ 天心の遺愛品			
	端溪荷葉硯 [天心所用]	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷 [天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
⑨ 創作者天心			
< 英文著作3部作 >			
岡倉天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
< 詩作と研究 >			
岡倉天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正2年	当館
⑩ テーマ展示「ローマ日本美術展覧会～横山大観と岡倉由三郎～」			
横山大観	書簡・岡倉由三郎宛	昭和5年	当館
横山大観	書簡・岡倉由三郎宛	昭和5年	当館
横山大観	「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞」草稿	昭和5年頃	当館
岡倉由三郎	横山大観「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞」草稿英訳	昭和5年頃	当館
齋藤隆三か	横山大観「美術愛好家の批判を乞う」草稿	昭和5年頃	当館

●令和4年度第6回展示

2023(令和5)年3月14日(火)～5月14日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
< 導入 >			
新海竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37年～大正2年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛田中	鶴髻	昭和40年	個人(寄託)
荒井経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和3年	当館
岡倉天心	羽織 [天心着用]	明治37年～大正2年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉天心	漢詩「登慈雲寺偶感」	不詳	当館
① 生い立ちと修業時代			
	横浜風景図(The Illustrated London News)	文久3年	当館
	文部省辞令(明治13年10月18日)	明治13年	国立大学法人茨城大学
	文部省辞令(明治13年10月18日)	明治13年	国立大学法人茨城大学

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
② 美術行政への参画と古美術の保存			
下村晴三郎(観山)	写生(笹) [東京美術学校授業課題画]	明治22～27年頃	当館
アーネスト・F・フェ ノロサ、岡倉天心	「日本美術史」講義録(西原猪太郎筆記)	明治24年頃	当館
岡倉天心	書簡・森田思軒宛	不詳	当館
	盃	明治25年頃	個人(寄託)
	東京美術学校校服 [木村武山着用]	明治24～29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽 [下村観山着用]	明治22～27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	『日本美術』(第1号明治31年10月)	明治31年	当館
横山大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：(公財)日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
ボストン美術館	給与の取り扱いについての承認通知	明治44年	当館
岡倉天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地 “五浦” 日本美術院の移転			
横山大観	寒天	明治33年	茨城県近代美術館
菱田春草	柴舟	明治33年	茨城県近代美術館
木村武山	熊野	明治35年	茨城県近代美術館
木村武山	夜桜	明治45年～大正 2年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
岡倉天心	五浦転居に関する八勝園招待状・河合寅次宛 (明治38年7月17日)	明治38年	当館
岡倉天心	書簡・矢部清助宛(明治39年9月17日)	明治39年	当館
岡倉天心	葉書・矢部清助宛(明治40年6月16日)	明治40年	当館
渡辺鼓堂	「五浦の月」[『いはらき新聞』記事](明治40 年9月26日)	明治40年	複製(原資料：当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉天心	漢詩(無題)	明治45年・大正 元年頃	当館
岡倉天心	遺言状	明治45年	当館
プリヤンバダ・デー ヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年6月24日)	大正2年	当館
プリヤンバダ・デー ヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正2年7月4日)	大正2年	当館
⑧ 天心の遺愛品			
	端溪荷葉硯 [天心所用]	明治37年～大正 2年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙 [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て [遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷 [天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
⑨ 創作者天心			
<英文著作3部作>			
岡倉天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初 版](ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニ ュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
岡倉天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
<詩作と研究>			
岡倉天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正2年	当館
⑩ テーマ展示「ローマ日本美術展覧会～横山大観と岡倉由三郎～」			
横山大観	書簡・岡倉由三郎宛	昭和5年	当館
横山大観	書簡・岡倉由三郎宛	昭和5年	当館
横山大観	「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞」草稿	昭和5年頃	当館
岡倉由三郎	横山大観「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞」草稿英訳	昭和5年頃	当館
齋藤隆三か	横山大観「美術愛好家の批判を乞う」草稿	昭和5年頃	当館

## (2) 資料テーマ展示

●**テーマ名** 雨華庵の松 酒井抱一を偲んで

●**会 期** 2022(令和4)年7月5日(火)～2023(令和5)年1月15日(日)

●**内容解説** 大正4年(1915)11月、木村武山、齋藤隆三、笹川臨風ら再興日本美術院の関係人物をはじめ、多数の文化人が雨華庵に集った。本展示では同会合に関連する資料「雨華会の記」を紹介し、近代における酒井抱一受容の一端を紹介した。

●**展示資料** ・「雨華会の記」(個人蔵、茨城県近代美術館寄託)

●**担 当** 塩田稔雄(副主任学芸員)

●**テーマ名** ローマ日本美術展覧会～横山大観と岡倉由三郎～

●**会 期** 2023(令和5)年1月17日(火)～5月14日(日)

●**内容解説** 昭和5年(1930)4月、イタリア政府主催による日本美術展覧会がローマで行われた。本展示では、当館が所蔵する岡倉由三郎の旧蔵資料から、ローマの美術展に関連する資料を一挙公開し、横山大観、由三郎らが準備を進める様子を紹介した。

●**展示資料** ・横山大観「書簡・岡倉由三郎宛」昭和5年1月19日、当館蔵

・横山大観「書簡・岡倉由三郎宛」昭和5年1月20日、当館蔵

・横山大観「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞(草稿)」昭和5年頃、当館蔵

・岡倉由三郎「横山大観「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞」(草稿英訳)」昭和5年頃、当館蔵

・齋藤隆三か「横山大観「美術愛好家の批判を乞う」(草稿)」昭和5年頃、当館蔵

●**担 当** 塩田稔雄(副主任学芸員)

## (3) 「再興院展の立役者 齋藤隆三」関連展示「教えて！齋藤博士」

2022(令和4)年9月13日(火)～2023(令和5)年1月15日(日)

岡倉天心記念室で展示中の一部作品について、齋藤隆三の解説によるキャプションを作成し、企画展と連動させた。